

所長	G長	課僚

# 会 議 報 告 書

【報告者 産業部林業振興課 枝窪主人】

起案	令和6年5月20日(月)	部長	次長	課長	補佐	G長	課僚	起案
報告書								
議題	<p>令和6年度サイト座談会</p> <p>日時：令和6年5月20日(月) 16:00～16:30  場所：天竜林業会館2階会議室  参加者：25名(別紙名簿のとおり)  浜松市：小林課長、大平副主幹、枝窪</p>							

## 1 概 要

○ 天竜林材業振興協議会の令和6年第1回総会後に、各サイト関係者と座談会を実施。主な意見等は次の通り。

春野／認証面積の拡大だけでなくPRが重要、今後の目標を決めて進めてほしい。

佐久間／森林環境税の使途と必要性について広報いただきたい。

天竜／FSC等の特色を生かし、林業への就業を目指す若者にも注目される地域となつてほしい。

## 2 内 容 (主な意見)

春野) FSCが始まって13年。初期目的である認証面積54,000haの92%は達成している。今後は認証面積の拡大だけでなくPRが重要、目標を決めて進めてほしい。

水窪) FSC・CLT利活用推進協議会の会員だが、目的や効果がわかりにくい団体となつてしまっているのではないか。

市役所) 川上から川下の事業者に参加いただいている唯一の団体。FSC活用の機運も高まりつつあるので、積極的に参加していただきたい。

天竜) 先日、川下の事業者に現場を見ていただき、どのような環境で木材生産されているのかやっと理解いただいたところ。木材の川上と川下を繋ぐ団体であり、引続きの協力をお願いしたい。

龍山) 龍山の事業フィールドは狭く良い場所は既に手が入っている。手が入りづらい場所の捨て切間伐や保育間伐を行っているが利益が出ない。補助金として割増してくれれば、手が入る場所も増えると思料。

引佐) 昨年5月に新たな組合役員を選考したが、FSCを知らない森林所有者が多いことを実感した。認知度向上に向けた取組を積極的に行っていただきたい。

佐久間) 地域住民や山主の山への無関心、理解不足の解消のため、森林環境税の使途と必要性について広報いただきたい。

市役所) 広報はままつでの広報を予定している。掲載後、共有させていただくので確認いただきたい。

裏面へ→

森林管理署) 林地保全に配慮した木材生産を行っている。新たにグラップルを活用した架線集材も予定しており、また共有させていただきたい。

天竜農林局) FSC材はまだ価格に直結していないが、認証材としての需要は高まっている。協議会として今後も認証取得の拡大が重要と考える。

林研) 昨年度、林業研究会のブロックコンクールで優勝させていただき、中野市長へ報告させていただいた。

天竜) 林業界は若手が就業しづらく、どこの森組でも課題。天竜地域は FSC や Jクレジットなど他地域と違う色が出せている。ジャパンホームショーなどでの PR を通じて、若者にも注目される地域となってほしい。

### 3 備 考

これまで FSC 認証林面積の増大を目的としてきたが、具体的な活用実績等の成果が求められる時期に来ていると思料。木材活用の時流を生かし、FSC 認証材の活用機会の創出を意識した PR 活動を引続き行っていく。

## 令和 6 年度サイト座談会の様子

日 時：令和 6 年 5 月 20 日（月）16:00～16:30

場 所：天竜林業会館 2 階会議室

